

5・10
市民大集会
での発言から

大阪市の権限、財源を使ってこそ 子育ても医療も充実します

大阪市を壊さず、 子育てしやすい 大阪市の

小学校1年生の娘がいます。橋下市長は、池田小学校事件で配置した学校警備員の補助をやめてしまい、道代の福祉減額も打ち切られ、プールの日数が減り、トイレットペーパーなどの消耗品を保護者が寄付をするという状況になりました。

必要なものがどんどん削られていくのを見てみると、輝かしい未来ばかりを語る「都」構想を信用することはできません。大阪市の壊さずに、住みやすい、子育てしやすい大阪市を、みなさんとつくりたいと思います。

安居 裕子さん(北区在住)

「都」構想は 繁栄の芽を奪う 不毛の構想

住之江区・西成区で、唯一の出産ができ、小児が入院できる住吉市民病院をなくす「都」構想は、将来の地域の繁栄の芽を奪う、不毛の構想です。いま小児科救急は不採算部門で、赤字覚悟で入ってくる民間病院はありません。

小児科医も不足しており、確実に確保することは民間病院ではできません。維新の会は「民でできる」とは民で「と言いますが、「民」でできないのは官で」という言葉を覚えてほしいものです。

大阪市の愛情のひとつかけらもない人に、大阪市の未来を託すことはできません。

住之江区医師会会長 松嶋三天さん



「大阪市も24区もなくすな! 特別区設置の住民投票で『反対』を」と、大阪市北区の扇町公園で10日に市民大集会が開催され5000人が参加し、パレードも行われました。大阪市商店会総連盟角理事長、大阪市地域振興会北尾会長、竹山堺市長、日本商工連盟大阪地区小池代表世話人、そして自民、民主系、公明、共産の各議員・元議員が参加しました。



「二重行政」問題の 特集 ウソを考える

福祉、医療の「二重」は あたりまえです

- 高校卒業までの医療費助成を
- 新婚世帯へ家賃補助の復活を
- 小児救急医療の充実を
- ブラックな働き方の根絶を

子どもたちの豊かな育ちは明日の大阪を開きます。健康に育ってほしい、生きる学力を身につけてほしい、安心して働き続けられる保育所を充実してほしい、家族そろって団らんできるような働き方にしてほしい……。この願いを実現するためには国、府、市の二重、三重の対策が必要です。橋下市長

のように病院まで二重行政と言って切り捨てるのは間違いです。しかも「都」構想では、庁舎建設などに莫大なコストがかかり財源がなくなるため、願いの実現は困難になり、逆に切り捨てられます。(2~3頁に続く)



大阪市をよくする会 検索



5.17
住民投票

「棄権は危険」、ぜひ投票に行き、「反対」と書き下さい。ひらがな、カタカナでも有効。「×」は無効です。

よみがえれ
大阪
大阪市をよくする会の見解をお知らせします。

「大阪市をよくする会」機関紙 2015年 5月13日 第396号
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階
TEL (06) 6356-2047 FAX (06) 6357-5303
HP : <http://yokusurukai.com> Mail : yokusurukai@nifty.com
大阪市をよくする会は、大商連、大阪労連、民医連、新婦人、日本共産党、陣連協、大生連、大借連、民青、民権連、年金者組合などで構成されています。